

県連ニュース

2010年3月1日発行
栃木県勤労者山岳連盟

県連ロープワーク勉強会・・・1
楽しかったね三県交流ハイク・・・3

県連ロープワーク勉強会実施報告

非常時の備えとして、栃木県勤労者山岳連盟（栃木労山）は、救助隊主催のロープワーク勉強会を実施しましたので報告致します。

| | |
|--------|--|
| 日時 | 2010.2.6(土) 9:30~10:00(準備) 10:00~15:00(ロープワーク講習) |
| 講習のねらい | <ul style="list-style-type: none"> ・非常時に山行にカラビナやスリング、ロープを持参するケースは多い ・その使い方については、時々復習しておく必要がある(特にリーダー) ・新入会員にもロープワーク技術を体感してもらう必要がある |
| 講習場所 | 日光市大沢 IC 付近の特設会場 |
| 準備するもの | 昼食、皮手袋(ロープを扱う)、飲み水 |
| 必要装備 | <ul style="list-style-type: none"> ・ハーネス、スリング(2~3本)、ユマール、プーリー、 ・確保器(エイト環、ルベルソ、ATC)、ロック付カラビナ×1個、 ・カラビナ×2個、ロープの切れ端(練習用2~3m) (※持っている方は持参下さい。なくても対応可) |
| 講師 | 栃木県勤労者山岳連盟 森初芳救助隊長 |
| 参加者 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラブマウントアンサンブル：3名 ・宇都宮ハイキングクラブ：23名 ・野木山想会：2名 合計28名 |

◆概要

2010.2.6(土) 午前9時30分頃、大沢IC付近、旧今市木和田島の特設会場に、あいにくの雪にもかかわらず、栃木労山会員28名が集合し、ハーネスやカラビナなどの装備を身につけ、10時から、救助隊主催のロープワーク勉強会がスタートした。

八木沢県連理事長の挨拶に続いて、講師を務める森初芳救助隊長から、「一般登山でも滑りそうな岩場やトラバース等の難場を通過することがあるが、補助ロープを活用すれば、安全確保に有効である。そんな時の為にもベーシックなロープの結びとシステムを覚えて頂きたい。」とのお話の後、勉強会の内容、進め方についての説明があり、勉強会がスタートした。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：増田俊雄 編集責任者：橋田弘一

321-0345 宇都宮市大谷町1109

<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

<勉強会の内容>

①ロープの結び方等

- ・ダブルフィッシャーマンズ、プルージック、バックマン、エイト結び等
- ・簡易チェストハーネスの作り方

②ロープに関する器具の使い方、訓練

- ・バックマン（危険箇所を通過する場合のストッパー）、アパッチの訓練（ロープとの摩擦のみで傾斜を下る）
- ・ロープと下降器（エイトカン等）による懸垂降下訓練、急傾斜降下訓練

③ロープでの上り

- ・ユマール、タイブロック、バックマン等を使ったロープ登攀訓練、急傾斜登攀訓練

④危険箇所を通過する場合の固定ロープ活用法

- ・固定ロープ活用したバランス訓練
- ・固定ロープ渡り（プーリーを使ったロープ渡り）訓練



※野外特設会場には、幾つか「やぐら」が組んであり、指導下さる県連 森救助隊長が登山のロープワーク練習用に手作りされたとのことでした。

山の備え万全に
日光・県勤労者山岳連盟
ロープの使い方学ぶ

【日光】山での緊急時に備えてもらおうと、県勤労者山岳連盟救助隊（森初芳隊長）

は6日、木和田島の特設会場でロープワーク勉強会を開いた。同連盟の会員は44人余りだが、8割はハイキング愛好家。だが山では何が起るかわからず、万一の際のロープの使い方覚えようという狙いだ。会場は森隊長の土地で、登山の練習用に作ったやぐらを活用。器具の扱い方やロープでの上り下り、結び方などを実技を交えながら学んだ。

宇都宮市の金子フミさん（65）は「ベテランがついているので、安心して勉強できます」。森隊長は「ロープは普段からやっていると使えない。5、6人集まれば一般登山者にも教えたい」と話していた。

雪が降る中、ロープを使った実技を学ぶ参加者

2010年2月7日付下野新聞に掲載されました。

感想文「ロープワーク勉強会に参加して・・・」

宇都宮ハイキングクラブ 2009年10月入会 石崎 尚代記

私は昨年10月に入会したばかりで、ロープワークという言葉の意味も知らずに好奇心で勉強会に参加させて頂きましたが、あらためて振り返ってみると無我夢中の1日でした。

当日は朝から降り出した雪が止まず、会場に到着すると一面雪化粧でした。計画書に荒天中止となっていましたので、こんな状態で出来るのか不安でしたが、先輩が会のハーネスを選んで下さり、ハーネスを装着させてくれましたので、雪の中でもやるんだと少し緊張しました。

講師は県連救助隊長の森初芳先生です。ロープの結び方やカラビナの使い方、その他の器具の使い方を、覚えきれないくらい沢山教えて頂きました。このようなロープや器具等の装備を使用することで、安全に山登りができることを体感することができました。

改めて、クラブに入って良かったと思いました。これからも、このような機会があれば参加したいので宜しくお願い致します。

楽しかったね 三県交流ハイク

1月31日、茨城県筑波山へ三県交流ハイクに行ってきました。

茨城・群馬・栃木の三県から16の会、307名の参加がありました。

栃木県からは、6団体・119名が参加しました。

昔から「紫のつくばね」は、登って楽しむ山で、東国一円の若い男女に登られていました。今回は、ほんの一寸前まで若かった男女達が表筑波登山路コース、弁慶茶屋コース、つつじヶ丘コースの3コースからそれぞれ御幸が原へ12時到着。

あいにくガスっていて、眺望は得られませんが、冷えた体に茨城県連手作りのアツアツのトン汁の御もてなし。おいし〜い！

日ごろなかなか会う機会のない茨城や群馬の方たちも、同じ山好きの仲間です。

筑波山での「一期一会」の出会いを大切に、どこかの山で交流した方たちと、またいつの日に会えるかを楽しみにしています。

次回は群馬、今度はあなたも参加してみませんか？

素敵な出会いが待っていると思われます。



筑波山最高峰・女体山の1等三角点